

	日本プライマリ・ケア連合学会 北海道ブロック支部		発行人:支部長 木村 眞司
			北海道ブロック支部事務局 (市立美唄病院内)
			TEL:0126-63-4171
			e-mail:hpca.jimukyoku@gmail.com

文責 北海道ブロック副支部長 小嶋 一 (手稲家庭医療クリニック)

kojimah@gmail.com

<報告①第7回北海道地方会が開催されました>

2019年6月29日(土)に札幌市のかでる2・7で開催しました。

参加者は159名で、医師120名、薬剤師21名の他、各医療職や学生の参加もありました。

テーマを「生涯学習」とし、それに関連した基調講演や企画を用意しました。

13時30分からの開会式、ブロック支部総会に続き、14時00分から15時00分まで学術発表、15時10分から16時40分までワークショップやシンポジウム、レクチャー、カフェ企画、16時55分～18時05分の基調講演、という流れで開催しました。

基調講演は生協浮間診療所/医療福祉生協連家庭医療学開発センターに「家庭医・総合診療医の卓越性と生涯教育」というタイトルでお話いただきました。アンケートに記載された感想を抜粋します。「笑いあり新しい知見ありで大変勉強になりました。家庭医の **Expert** 性が言語化されました。」「患者背景を見たり、常に新しいなにかに興味を持ち続ける事。生涯学習の意味を学ぶことができた。」「患者は医療に何を求めているか、自分の振り返りにもなり明日からの業務に活かしたいとモチベーションの上がる講演でした。」「内容も自分が今感じている外来の深まる面白さが言語化されていました。」「総合診療の魅力わかりやすく言語化され頭が整理されました。」とにかく、おもしろく、気づきの多い、あっという間の70分でした。

その他のセッションについては、担当の実行委員からのコメントをご覧ください。

●学術発表「口演(一般演題)」「生涯学習・EBM実践でうまくいったケース、いかなかったケース報告会(ポスター発表)」

口演5題、ポスター4題と盛況でした。演題内容も、肥厚性硬膜炎、エチレングリコール中毒症、魚骨による食道穿孔、骨髄異形成症候群、高齢者熱中症のケースシリーズといった **Biomedical** なものから、高齢独居膀胱癌の看取りといった **Psychosocial** なもの、診療所所長の生涯学習の場作り、総合診療科による院内救急勉強会の企画と運営といった取り組み報告、外国人死亡における遺体の取り扱いについての外国公館・大使館へのアンケート調査とテーマも多岐に渡り、会場とのディスカッションを通じて、良い学術発表の場となりました。

●ワークショップ1:「困っていませんか?適切な論文の選び方と批判的吟味

～エビデンスに騙されないコツ教えます～」

今年度は「困っていませんか?適切な論文の選び方と批判的吟味 ～エビデンスに騙されないコツ教えます～」という表題でのワークショップで、参加者は学生からベテラン医師、薬剤師の方々まで合計11名で学びを深めることができました。専攻医が高尿酸血症の治療について指導医と一緒に考えるという設定で、PICOを立てて二次資料を調べても治療方針を立てる上で必要な情報にたどり着かず、原著論文(CARES trial;

NEJM 2018) を批判的に読むという内容でした。EBM の Step1 の問題の定式化と Step4 の情報の患者への適応の部分はグループワークとし学びを深める工夫をしました。各班からは独自の見解が発表され、同じ症例、同じ論文を読んだとしても患者への適応の部分で意見が異なるのが大変興味深いと感じました。アンケート結果でも様々な意見が聞けて良かったというコメントも多く見受けられ、学びの深いワークショップだとして評価いただきました。

●ワークショップ2：「家庭医×オープンダイアログ」

「オープンダイアログ」とはフィンランドの西ラップランド地域で 1980 年代から行われている対話を中心とした地域精神医療システムのことです。今回のワークショップでは参加者同士の対話を通して、「オープンダイアログ」の入り口を体験していただきました。限られた時間でしたが、家庭医療に応用できる可能性を感じることができました。

●シンポジウム：「多職種でどう学び合うか？～生涯学習を考える～」

「多職種でどう学び合うか？～生涯学習を考える～」というテーマでシンポジウムを開催しました。座長の副支部長である小嶋一先生により講義・問題提起がされた後、5名のシンポジスト（医師2名、看護師、薬剤師、作業療法士）の各々の立場より講演いただきました。参加者も50名弱と多く参加していただき、地域での取り組みや他職種より求められていること、多職種での生涯学習に対する課題などについても情報共有ができ、ディスカッションも盛り上がりました。他の職種より得られる学び、他職種への理解を深めるための工夫など、多職種での学ぶ機会について各先生方の経験を聞くことができ、学びの多いシンポジウムとなりました。

●レクチャー：「日常診療アップデート」

今年度は糖尿病、がん検診、老年医学、不眠症の4つのテーマを取り上げました。御多忙の中、多施設から3名の先生に講師を担当頂き、最新の医学知識のアップデートに役立つ実践的なレクチャーを頂きました。双方向性のレクチャーを意識した内容を共通のテーマに掲げましたが、次年度以降も新たな講師、テーマでお送りしていきたいと思っております。

●カフェ企画：「何かと忙しいみなさんの学習方法、時短術を教えてください」

カフェ企画「何かと忙しいみなさんの、学習法、時短術を教えてください」を開催しました。年代、職種も多様な10名前後の方にご参加いただき、沢山のアイデアをシェアすることができました。ITやアプリを使って効率的に学習する方法、薬局からの疑義照会にSNSを利用している、患者紹介をスムーズにするためにローカルルールを知ること、家事の効率化や、家事分担についてなど、真似してみたいくなるアイデアも多数。そして、忙しい中でも睡眠時間はしっかり確保している方が多いというのも印象的でした。

ご協力いただいた実行委員は以下の通りです。皆様、お忙しい中、大変お世話になりました。（担当は主に仕事をしていただいたもので、それ以外にもいろいろと関わっていただきました。）

木佐健悟（JA 北海道厚生連倶知安厚生病院） 実行委員長、副支部長

佐藤弘太郎（本輪西ファミリークリニック） 学術担当

若林崇雄（JCHO 札幌北辰病院） 学術担当

加藤利佳（手稲家庭医療クリニック） EBM ワークショップ担当

齊藤正美（理学療法士、北海道文教大学） シンポジウム担当

播磨孝司（作業療法士、さっぽろ在宅医療クリニック） シンポジウム担当

笹岡佑樹 (薬剤師、札幌溪仁会リハビリテーション病院) シンポジウム担当
松澤廣希 (手稲家庭医療クリニック) 日常診療アップデート担当
山口章江 (薬剤師、十勝勤医協帯広病院) カフェ企画担当、ポスター作成

来年度の北海道地方会は2020年6月27日(土)に本年度と同じく札幌市かでの2・7で開催します。次回の実行委員長は佐藤弘太郎(本輪西ファミリークリニック)です。今からスケジュール調整をお願いいたします!

(文章: 実行委員長 木佐健悟)

<報告②日本在宅医療連合学会 第1回地域フォーラムが開催されました>

2019年9月14、15日に札幌教育文化会館で開催されました。

当支部よりシンポジウム「総合診療医による在宅医の養成について」を上川医療センターの安藤高志先生に、ワークショップ「診療所・病院の外来から在宅導入できていますか?」をホームケアクリニックあづまの大門伸吾先生に開催していただきました。詳細な報告は次回のニュースレターで掲載します。

<告知①第7回北海道プライマリケアフォーラム(兼)北海道医学大会プライマリケア分科会(兼)第4回JPCA北海道ブロック支部学術集会>

2019年11月23日(土)、かでの2・7にて開催です。実行委員長は手稲家庭医療クリニックの竹内優貴先生です。以下ホームページより抜粋です。

今年のテーマは「つながる輪・ひろがる輪」です。

本フォーラムを通して新たなつながりが生まれ、プライマリ・ケアを支える輪が広がっていくことでさらなるプライマリ・ケアの発展に繋がることを願い、このテーマとさせていただきました。

基調講演には在宅医療のトップランナーとして知られ、多職種での学びあいの場である「在宅医療カレッジ」を立ち上げられた医療法人社団悠翔会理事長 佐々木淳先生にご登壇いただきます。

本フォーラムが皆様にとって、大きな学びや出会いを得る機会となれば幸いです。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

ホームページよりチラシもご覧いただけます。

<http://jpca-hokkaido.jp/forum2019>

<告知②サイトビジット, ポートフォリオ検討会を開催します>

道内の研修プログラムの交流, 専攻医の研修支援を目的としてサイトビジットとポートフォリオ検討会を合同で毎年開催しております。今年度は帯広協会病院で開催します。

(日時)

2019年11月8日 14時00分～18時30分

※ 19:00から懇親会も予定しております。

(場所)

帯広協会病院

帯広市東5条南9丁目2

(プログラム)

14:00～14:15 ご挨拶

14:15～15:15 院内見学

15:30～16:45 報告書に基づいたプログラムに関するディスカッション

17:00～18:20 ポートフォリオ検討会(2件)

18:20～18:30 ご挨拶

(申し込み方法)

別紙申込書に必要事項を記載の上, 郵送または email でお申し込み下さい。email での申し込みを希望するかたは以下のアドレスからご連絡下さい。

〒072-0031 北海道美唄市西2条北1丁目1-1

市立美唄病院内 日本プライマリ・ケア連合学会 北海道ブロック支部事務局 (担当 高倉)

TEL: 0126-63-4171

Email: hpeca.jimukyoku@gmail.com

<告知③北海道庁総合診療医人材確保・養成事業>

北海道庁からの委託・支援を受け, 医学生や初期研修医など総合診療を目指す医師のリクルートとして北大, 札幌医大, 旭川医大で普及啓発活動(講義, ワークショップ, 懇親会など)を平成29年度より行っております。今年度は6月14日北海道大学で開催しました。

10月9日に旭川医大で開催予定です。

様々な形でご協力をお願いすることとなりますのでよろしく申し上げます。

<その他の平成30年度の支部関連行事予定>

・北海道ブロック支部幹事会 2019年10月5日(前回のニュースレターでは日程のご案内が間違っておりました! 申し訳ありません)

第7回 北海道プライマリ・ケアフォーラム ～つながる輪、広がる輪～

令和元年 11月23日 (土) 12:30-19:10

北海道立道民活動センター (かでの2・7)

基調講演 佐々木淳先生 悠翔会 理事長
『これからの在宅医療のカチを考える。』

今年のワークショップも盛りだくさんです！
学生、初期研修医も大歓迎！

第99回北海道医学大会プライマリ・ケア分科会/
第4回学術集会 口演発表を同日開催

*参加費 支部会員：2000円、非会員：4000円、学生：無料
*託児所設置予定 *終了後、懇親会を予定しています。

申し込み/詳細はFacebookページまたは支部会ページまで！

【主催】日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部
北海道 (北海道保健福祉部地域医療推進局)

【共済】日本プライマリ・ケア連合学会学生初期研修医部北海道支部

本フォーラムは、「プライマリ・ケア専門医/認定医更新のための単位」
「プライマリ・ケア認定薬剤師の認定単位」が認定される予定です。



第7回 北海道 プライマリ・ケアフォーラム

テーマ：～つながる輪、ひろがる輪～

日時：令和元年11月23日(土) 12:30-19:10

会場：北海道立道民活動センター (かでの2・7)

基調講演

医療法人社団悠翔会 理事長 佐々木 淳先生 これからの在宅医療のカチを考える。
在宅医療は患者とどう向き合うべきかというコンセプトではなく、医療専門職として保険医療機関と果たすべき役割についても考えてみたいと思います。(抄録より抜粋)
<略歴>京都市生まれ。1998年 筑波大学医学専門群卒業。
2006年8月 在宅医療支援診療所 (MRCビルクリニック) 個人開設。
2008年3月 医療法人社団悠翔会に法人化・理事長就任。

ワークショップ① (13:00-14:20) *以下のうち、1つを選んで頂きます。

<学生企画 くらまっないブナの森診療所 寺田豊先生、帯広協会病院 堀智也先生、勸医協中央病院 佐藤健太先生>
総合診療医に学ぶ！コミュニケーション術
患者さんとの医療面接を疑似体験し、総合診療医のコミュニケーション術を学びましょう。
<予防医療 手稲家庭医療クリニック 小嶋一先生、佐野恵先生> 日常診療の中で予防医療を実践しよう
プライマリケアの日常診療で、どのように予防医療が実践されているのかを紹介します。
自分ならどのような取り組みができるか考えてみましょう。
<高齢者医療 寿都診療所 渡部和也先生、そよかせ薬局 田村英俊先生> 地域医療実習出前講座～リハビリ・薬師編
寿都町立寿都診療所で行っている地域医療実習がフォーラム会場へ出張いたします！
多職種みんなで、リハ実習と薬局実習を体験してみませんか？

ワークショップ② (14:40-16:00) *以下のうち、1つを選んで頂きます。

<行動変容 手稲家庭医療クリニック 大塚高平先生> 動機づけ面接 入門
行動変容のアプローチで有効な動機づけ面接のスキルを体験し、そのエッセンスを学ぶセッションです。
<臨床推論 勸医協中央病院 松浦武志先生> 問診/身体診察ってホントに役に立ってるの？
「問診と身体診察で疾患の8割は診断できる」とはよく言われます。
このセッションでは、診断に迫ることができる「意味のある問診」「意味のある身体診察」をご紹介します。
<小児医療 大曲ファミリークリニック 濱野貞道先生>
小児医療と家庭医療？～総合診療/家庭医療だからできる、こどものみかた
家庭医療の視点があっこそ実践できる、小児診療におけるアプローチについて学びます。

学術集会 並行企画

語り合おう！あなたにとっての総合診療2019
様々な専攻の学生や初期研修医向けに、先輩の医師や薬剤師をお招きし、ワールドカフェ形式でキャリアのことからプライベートなことまで聞ける、本フォーラムの恒例企画です。

基調講演・ワークショップ・並行企画の抄録はFacebookまたは支部会ページでご確認頂けます。

<ご質問・ご要望をお寄せください！>

北海道ブロック支部では支部長・副支部長が毎月一回ビデオ会議で行なっています

副支部長の担当業務は以下の通りです。ご意見・ご質問があればお気軽にお寄せください。

山田副支部長：サイトビジット・ポートフォリオ検討会、専攻医関連

臺野副支部長：学生関連、支部広報・ウェブサイト関連

木佐副支部長：ミニ地方会、キャンプ、学術

小嶋副支部長：地方会、フォーラム、ニュースレター

日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部事務局

〒072-0031 北海道美唄市西2条北1丁目1-1

市立美唄病院内 代表電話 0126-63-4171

北海道ブロック支部事務局アドレス hpca.jimukyoku@gmail.com

担当：高倉・今澤